

指定給水装置工事事業者 指定更新時確認事項 記載例

1 概要

- 水道を利用するお客さまの利便の向上および給水装置工事に係るトラブルを防止する観点から、お客さまが給水装置の維持管理をする上で、漏水等による修繕の依頼や給水装置工事の施工に関する検討をする際に重要となる、指定給水装置工事事業者の皆様の営業時間や漏水等修繕対応の可否、対応工事の種別等を確認するものです。
- また、水道事業者主催の研修会受講状況、給水装置工事主任技術者の研修の受講状況や適切に作業を行うことができる技能を有する者の従事状況等の、事業の運営状況を確認します。
- この調査への回答は指定の要件（基準）ではないため、回答内容により指定が取り消されることや、指定の更新が不可能となることはありません。
- 確認事項については、水道利用者が指定工事事業者を選択する際に有用となるような情報を提供するため、町ホームページ等で公表予定です。ただし、公表の可否については、指定工事事業者が選択できます。（各確認事項にある「公表の可否」解答欄の該当するものに○を記してください）
- なお、営業時間等、回答いただいた内容に変更があった場合は、その都度届け出ていただきますようお願いいたします。

2 記載例（記載例は赤字）

確認事項 1

三朝町水道事業者（水道事業者等の連携による広域開催も含む）が主催している指定給水装置工事事業者講習会の受講実績（過去5年以内）

- (1) 公表の可否 可 不可
- (2) 受講の有無

確認事項1について、公表することに同意される場合は「可」に○、同意されない場合は「不可」に○。

回答欄	回答内容
✓	① 受講した（受講年月日 令和 ○年 △月 ××日） ※受講を証明する書類（受講証等）の写しを添付してください
	② 未受講 【未受講の理由を記載してください（非公表）】

【記載例における補足事項】

- 該当する解答欄に○又は✓を付けてください。
- 「① 受講した」を選択された場合は、受講した年月日を記入してください。提出時に、受講を証明する書類（受講証等）の写しを添付してください。
- 「② 未受講」を選択された場合は、その理由を記入してください。なお、未受講の理由については公表しません。
>過去5年以内に三朝町水道事業者主催の研修会が開催されなかった場合は、その旨記載してください（例：研修会が開催されなかったため）

確認事項 2

例) 回答内容をホームページ等により公表することを同意

指定給水装置工事事業者の業務内容

営業日及び 営業時間	営業日：月曜日～土曜日 営業時間：8時～17時	公表の可否 可・不可
休業日	日曜日、祝日、年末年始（原則 12/30～1/3）、 夏季休業（8月中旬に5日間）	公表の可否 可・不可
修繕対応時間	8時～17時（17時以降は要相談） ← 夜間・休日対応可の場合はその内容も記入	公表の可否 可・不可
受付電話番号	0858-××-〇〇〇〇 ← 利用者が問合せに使用する番号	公表の可否 可・不可
漏水等修繕 対応の可否	屋内給水装置の修繕 埋設部の修繕 ← 対応可能なものに○	公表の可否 可・不可
対応工事種別 （新設・改造等）	【対応可能な工事は（新築・改造）の該当するものに○】 ・配水管からの分岐～水道メーター（新設・改造） ・水道メーター～宅内給水装置（新設・改造）	公表の可否 可・不可
その他 （特記事項等）	・緊急時連絡先 0*0-\$\$\$\$-####（代表者携帯電話）	公表の可否 可・不可

その他、確認事項以外で伝えておきたいこと等があれば記入（任意）。

新設・改造、共に対応可能な場合は両方に○

例) 回答内容を公表することを同意しない

【記載例における補足事項】

- ・利用者が、指定給水装置工事事業者を選択する際に有用となる情報を発信するために行うものです（公表の場合）。確認事項記入の際は、可能な限り具体的な記載をお願いします。
- ・各確認事項における「公表の可否」も必ず記入してください。

確認事項3

過去5年以内の受講の有無。

給水装置工事主任技術者等の研修事項実績（過去5年以内）

～ 略 ～

(1) 公表の可否 可 不可

確認事項3について、公表することに同意される場合は「可」に○、同意されない場合は「不可」に○。

(2) 給水装置工事主任技術者等の研修事項実績（過去5年以内）

受講者名（公表対象外）	研修会名及び実施団体	受講年月日
三朝 太郎	給水工事振興財団 e-ラーニング	令和○年△月×日
水道 次郎	自社内研修 ○○に関する業務研修	令和○年△月×日
受講者名は公表対象外		
e-ラーニング、現地研修会で受講した場合、修了証や修了年月日が明示されたもの（主任技術者証）の写しを添付	自社内研修は申し出のみとし、別途証明の書類や受講の事実を証明する押印は不要。	

【補足事項】

- ・外部研修については、受講を証明する書類（受講証等）の写しを添付してください。
- ・自社内研修については、「研修会名及び実施団体」欄に、研修内容を記載してください。
- ・受講者名は、公表の対象ではありません。
- ・行数が足りない場合は、必要に応じて様式をコピーしてください。

【記載例における補足事項】

- ・確認対象とする研修は、外部機関による研修の他、事業所内訓練等による自社内研修を想定しています。
- ・現時点で想定している外部研修は、給水工事技術振興財団で実施している「e-ラーニング研修」・「現地研修会」。
- ・町建設水道課で実施の有無を確認するため、外部研修であれば受講証など受講の事実を証明する書類により行いますが、自社内研修は様式への記入による申し出のみとします（自社内研修の場合は添付書類不要）。
- ・確認した受講者名は「公表対象外」とします。

確認事項 4

過去 1 年以内の給水装置工事に主に従事した適切に作業を行うことができる技能を有する者の状況（配水管への分水栓の取付け、配水管のせん孔、給水管接合の経験の有無）

～ 略 ～

(1) 公表の可否 : 可 ・ 不可

確認事項 4 について、公表することに同意される場合は「可」に○、同意されない場合は「不可」に○。

(2) 過去 1 年以内の給水装置工事に主に従事した適切に作業を行うことができる技能を有する者の状況

対応工事において「配水管からの分岐～水道メーター」の工事を行わない事業者は次の□にチェックしてください。（確認対象外となり以降の記載は不要）

「配水管からの分岐～水道メーター」の工事を施工しないため不要

「配水管からの分岐～水道メーター」の工事を行わない事業者は□欄に✓を記入
※その場合、以降の記載は不要。

記載名は
公表対象外

保有している資格を記入（記載内容は様式下部青枠を参照）

※ 過去 1 年以内の工事実績が無い場合は、直近の状況を記載してください。

技能を有する者の氏名 (公表対象外)	「配水管への分水栓の取付・せん孔」、「給水管の接合」、いずれの経験も有しているか(○×を記入)	資格等を有しているか(○×を記入)		工事年度
		保有している資格等		
三朝 太郎	○	○	配管技能士	R○
水道 次郎	○	○	検定会合格者	R○
給水 三郎	○	×		H30

雇用関係又は下請け等も含み、給水装置工事に主に従事した者の氏名を記入 ※氏名は公表対象外

資格を有していなくても、経験を有していれば記入。

・対象となる「技能を有する者」は、雇用関係に関係なく下請け等を含んだ給水装置工事に主に従事したものを記載してください。

・以下に示す保有資格等（下線部）を記載してください。

- ① 水道事業者等によって行われた試験や講習により、資格を与えられた配管工（配管技能者、その他類似の名称のものを含む）
- ② 職業能力開発促進法（昭和 44 年法律第 64 号）第 44 条に規定する配管技能士
- ③ 職業能力開発促進法第 24 条に規定する都道府県の認定を受けた職業訓練校の配管科の課程修了者
- ④ 公益財団法人給水工事技術振興財団が実施する配管技能の習得に係る講習の課程修了者（配管技能者講習会修了者、配管技能検定会合格者、配管技能者認定）

・資格を証明する書類（資格証等）の写しを添付してください。

・行数が足りない場合は、必要に応じてコピー等してください。